

## 【4学年のまとめ】

### 1. 学年の取組

本学級の児童は、自分から挨拶をすることができ、大人と話す時に丁寧な言葉で話すことができる児童が多い。みんなで話し合っで決める学級会やグループで役割を決めて活動する体育など自分達が主体となることができる活動が好きな児童が多い。しかし、友達といると楽しくなってしまう、落ち着いて行動することやルールを守って行動することが難しい児童がいる。「心の鏡アンケート」を実施したところ、得意なことや好きなことが「ある」と答えた児童は100%であったが、自分にはよいところが「ある」と答えた児童は70%であった。友達のよいところは見つかったも、自分のよいところとなると見つけれない児童が多いことがわかった。得意なことや好きなことがある児童が多いが、自分のよいところに気付いたり、もっと伸ばしていきたいという気持ちを持ったりするところまでつながっていない実態が見えた。そのため、今回の研究授業では、「A 個性の伸長」の価値項目を取り上げ、自身のよさに気づき伸ばしていこうとする心情を育むことをねらいとした。

本時では、教材や文を自分事としてとらえることができるように、自我関与が中心の学習を展開した。「自分のよいところ」＝長所に気付かせることを自分だけでなく、他者の関わりの中で気付かせるようにした。そのために、事前に給食班で自分以外の人のよいところをハート型の紙に書いてもらい、本時の中では終末で児童に読ませる活動を設けた。自分のよいところを客観的に知ることにより、自分のよさに気付かせる工夫を取り入れた。

各クラスで先行授業を行い、1時間の授業の展開の仕方や発問の工夫について検討を重ね、共通認識をもちながら児童の変容を見取ることができた。

### 2. 授業実践について

主題 内容項目【A-4 個性の伸長】

本時のねらい 自分の個性に気づき、自分の特徴である長所の部分をさらに伸ばすために、登場人物それぞれの長所が、村に嵐が来たときにうまく生かされる場面に焦点を当て、話し合うことで、自分のよいところがわかり、長所を伸ばそうとする意欲や態度を育てる。

教材名 うめのき村の四人兄弟（出典「新しい道徳4」東京書籍）

授業者 4年3組 菅野 智也



#### 【授業の流れ】

- ①クラスの「心の鏡アンケート」の結果を知る。
- ②長所とはどんなことなのか考え、自分の個性に目を向ける。
- ③うめのき村の登場人物が自分の得意なことを生かして嵐を乗り越える場面を話し合う。
- ④嵐を乗り越え、おとうにほめられる場面を話し合う。
- ⑤自分なりによいところとはどういうことなのか話し合う。
- ⑥友達から書いてもらったよいところを読んで、自分のよいところを書く。
- ⑦授業の振り返り、金子みすずの詩を聞く。



### 児童の振り返りより

- ・わたしのよいところは声を大きく出せることです。みんなに声をかけて助けたいです。
- ・ぼくのよいところはおもしろいところです。周りの人を明るくさせたいです。
- ・わたしのよいところは運動が得意なところです。コツを教えたいです。
- ・ぼくのよいところは力があることです。力の必要なときにすぐかけつけたいです。
- ・わたしのよいところはいつも笑顔なところです。みんなを幸せにしたいです。
- ・わたしのよいところはあきらめないところです。何事にもチャレンジしてクラスを盛り上げたいです。

### 研究協議より

#### 視点1・自己肯定感を高めるためには

- ・友達のよいところを書くカードにたくさんコメントがあるのが、もらった子供にとってうれしい。
- ・長所と感じるプロセスを伝えたことで自己肯定感を感じやすくなる。

#### 視点2・価値へのせまり方

- ・書く活動の中で、質問をもう少し絞ることで、時間短縮できる。
- ・カードの取り組みがよかったが、良いところを生かしてこんなことをしたいという話の流れができたらなおよい。しかし、押し付けにならないように気をつけたい。
- ・発問が大切であることが改めてわかった。発表児童の発言に流されてしまうと価値に迫りにくい。
- ・テーマ発問は、導入で課題設定が行われる。子供たちは教師の求めている答えを導きたくなる。発問の仕方に工夫が必要である。

### 3. 成果と課題

- 国語的な読み取りにならないように、教材文に書かれている言葉についての発問に時間をかけず、あらかじめ作ってある短冊を掲示しながら登場人物のおさらいをしていた。時間短縮につながった。
- 友達のよいところを書く活動を経てから、自分のよいところに目を落とすことで素直な気持ちにつながったようである。自分のよいところを書く活動がスムーズであった。
- ▼書かせる活動が3つあるのは多いような気がする。書いてから発表というのは自信にもつながるのでよいが、考えが固まってしまいがちになる。
- ▼**伝え合い**で終わらないように**話し合い**を意識して発問の工夫を検討することが必要である。
- ▼自分のよいところを書く例として、「○○が得意だから□□をがんばりたい。」を出すとなおよかった。